瀬野
せの喜代の区議会ノート

情報公開と市民参画をめざして

介護
子育て
環境

2009・初秋
第31号

区議会での会派は民主党・市民の会です

http://senokiyo.sakura.ne.jp/ ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail: senok@kfx.biglobe.ne.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

今、区が緊急に取り組むべきは 子どもと高齢者の貧困対策

第２回定例区議会・せの喜代の一般質問から（次ページに続く）

子どもの貧困率 12.9% (89年) → 14.7% (04年) 「子どもの貧困」ー日本の不公平を考える 阿部彩著 岩波新書より

1 「子どもの貧困」の現状と対策について

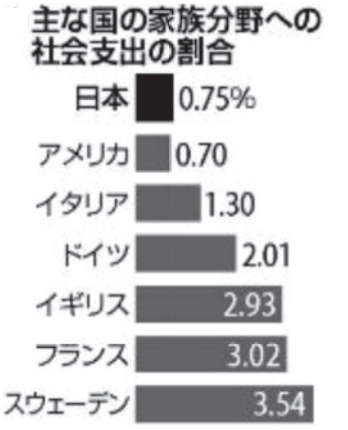
① 区内の「子どもの貧困」の現状と世代間連鎖についての区の認識は？
② 最も重要で効果的と言われる、ひとり親、特に母子家庭への支援を
③ 入札における総合評価方式に母子家庭支援項目を
④ 中卒・高校中退者への支援を

たまゆらの悲劇を繰り返すな（高齢者の貧困率 20～21%）

群馬県渋川市の無届け老人施設での墨田区民10人の火災死亡事故

2 低所得高齢者向け支援つき住宅について

⑤ NPOの提案する支援付き住宅の制度化を推進し、区内にモデル住宅を
⑥ 区内の住宅実態調査（空き住宅12000戸）にあたっては、低所得高齢者向け支援つき住宅の可能性を探る調査を



対国内総生産比、2003年。家族分野への社会支出とは、出産に伴う給付や児童手当、保育関連給付など

税金の使い方を「コンクリートから人づくりへ」今こそ、国民が政治に発言しよう　政権交代

政権交代が、ようやく実現した。私が区議会議員になってからの10年間、区の施策に「子育て・介護・環境を」と求めるたびに、国の少子高齢社会への政策がお粗末で、コンクリート（必要以上の道路や建物や空港・ダム）に税金が投入されていることを苦々しく思ってきた。保育園の待機児童の数は減らず、老後の安心の住まいも確保されてこなかった。日本人はがまんしすぎる。政治は生活そのものである。もっと発言しよう。

民主党・木村たけつか衆議院議員・たきぐち学都議会議員へのご支援ありがとうございました。区民と向き合う地道な活動と情報公開にご期待ください。